



ぴーぷる

■韓国「民衆美術」の個展

韓国の民主化運動から生まれた「民衆美術」で知られる金鳳駿（キム・ボンジュン）さん(57)が、東京で個展を開いている。山本作兵衛の炭鉱記録画がユネスコの「世界記憶遺産」に登録され注目されているが、金さんの作品も民衆目線にとらえた韓国の「記憶」だ。

1980年代の軍事政権下のソウルで労働者や学生をモデルに木版画を制作。機関誌の表紙を飾った。一方で、デモやストに協力したかどで3回逮捕された。

90年代にがんを患い、田園の広がる北部の原州に移住。農民生活や伝統芸能をモチーフに描いた。「時代によって対象は変わったが、『人間』を表したいという欲求は変わらない」

個展は東京都中央区新川1丁目のギャラリー・マキ（03・3297・0717）で、12月3日まで
（広島敦史）